



一般質問

※新型コロナウイルス感染症への取り組みとして、壇上にアクリル板を設置するとともに、マスク着用の上、質問を行いました。

市民連合



島津 哲也議員

質問 1

衆院選のミスや投票率向上への取り組み

政令市における投票用紙の交付ミス発生件数は。また、今回の選挙で投票率向上のための独自の取り組みは。

答弁

投票用紙の交付ミス件数は、本市も含め14市23件。市内の高校及び大学計38校にチラシとポスターの掲示を依頼し若年層に周知を図った。



質問 2

カーボンニュートラル※1の積極的な推進を

本市における2050年カーボンニュートラルに向けての再生可能エネルギーの普及や省エネルギーの取り組みは。

答弁

率先して再エネの導入などに取り組むと共に、多様な関係者と連携を図りながら、脱炭素社会の実現に向け、積極的に取り組む。

熊本自民



高本 一臣議員

質問 1

賃金を引き上げる本市の経済環境の取り組み

大手半導体メーカーの進出は賃金引き上げや、経済面全般に大きく寄与すると捉えているが、本市の取り組みは。

答弁

人材の確保や進出環境の整備など、庁内横断的なプロジェクトを検討しており、県などと連携して円滑な進出を支援していく。

質問 2

虫歯政令市ワーストの課題と対策

幼児期、学童期世代の「虫歯罹患率」がワーストとなっているが、課題解決に向けての対策は。

答弁

健康くまもと21推進会議の歯科保健部会で子どもの虫歯対策について集中審議を行うなど、子どもの虫歯予防の強化に取り組む。



自民党



寺本 義勝議員

質問 1

集落内開発制度の見直しについて

見直しに伴う関係市民への説明会で市民から出された意見や要望をどの様に受け止めておられるのか。

答弁

説明会での地域の声は切実なものとして認識している。運用については、法改正の趣旨を踏まえて、県と調整を図りながら検討していく。

質問 2

農業振興地域整備計画の見直しについて

国県道沿線やスマートインター周辺を開発可能とする制度はどうなっているのか。また、見直しでどう配慮するのか。

答弁

平成13年以降に合併した地域が制度の対象となっている。周辺の農業の状況を踏まえつつ、法の趣旨に沿って適正に判断していく。



公明党



藤永 弘議員

質問 1

アルコール依存症対策(スクリーニングテスト※2)の推進

飲酒運転根絶には職員のアルコール依存症対策が必要。定期的なスクリーニングテストを行うてはどうか。

答弁

アルコール摂取に関する自覚を促すとともに実態を把握する手段としてスクリーニングテストは有効であり、速やかに着手する。



質問 2

火葬場(斎場)に予約システムの導入を

本市が予約システムを導入することで、家族の方や葬儀社だけでなく、火葬場(斎場)の運営もスムーズになるのでは。

答弁

予約システムの導入は、市民の利便性向上や斎場運営効率化などが期待できるため、先行都市の事例を研究し導入に向け取り組む。

共産党



上野美恵子議員

質問 1

自分らしく生きられるジェンダー※3平等社会を

男女賃金格差の実態把握、市女性職員の非正規解消・管理職登用推進、ジェンダー平等条例・基本計画の策定を。

答弁

市内の事業所を対象とする実態調査で、男女賃金格差を把握する。職場環境改善などに取り組み、より一層の女性管理職登用に努める。



質問 2

庁舎整備有識者会議・耐震分科会は「公開」を

庁舎整備有識者会議・耐震性能分科会の非公開をやめ、委員全員(3人)が同じ大学関係者という選任の是非を。

答弁

分科会の運営については、分科会において決定いただくべきものであり、その判断を尊重したいと考えている。

無所属議員



北川 哉議員

質問 1

食の流通や安定供給への取り組み

卸売市場は食の流通を担う大きな役割を持っている。本市の食の流通や今後の安定供給についての見解は。

答弁

市場は食の安定供給の重要な役割と認識。今後の安定供給に関しては関係者の意見を聞きながら市場を所管する県と連携していく。



質問 2

学校改革での教育現場と教育長の意思

教育関係者などからは不安の声がある学校改革について、課題の認識、改善策や今後の対応をどう考えるのか。

答弁

改革の進め方などへの共通理解が十分でないことが課題と考えており、全校長との意見交換の機会を設けるなど、連携を強化している。

市民連合



上田 芳裕議員

質問 1

ウィズコロナを踏まえた地域経済浮揚の取り組み

自粛・人流抑制が続いた地域経済の浮揚に向け、県内やオール九州と連携した観光誘致の取り組みは。

答弁

共同制作したPR動画を活用し、世界マスターズ水泳選手権開催に向けた情報発信など、九州各都市と連携した取り組みを強化していく。

質問 2

透析排水処理の現状と課題

人工透析患者の割合が高い本市の透析排水処理について、上下水道局で適正な検査体制が行われているのか。

答弁

本年度末までに透析医療機関、全34施設を立入調査予定。今後は5年に1回以上の立入調査と中和装置設置を積極的に働きかける予定。



おしえて ひごまる

カーボンニュートラル※1……二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量と、植林や森林管理などによる吸収量を均衡させること。2020年10月、国は2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言した。

スクリーニングテスト※2……迅速に結果が得られる簡便な検査を行うことによって、集団の中から特定の病気が疑われる人を選び出すこと。この答弁では、アルコール依存症について、危険又は有害な飲酒レベルにある人かどうかを判定するための簡易なテストのこと。

ジェンダー※3……生物学的性別に対して、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」のような男女の別を示す概念である。